

「聖域」譲れぬ一日

日米TPP大詰め

環太平洋経済連携協定（TPP）交渉を巡る20日の日米関係協議は難航し、21日未明にもつれ込んだ。早期妥結を目指す日米の思惑は一致するものの、日本のコメと米国の自動車分野という双方とも譲れない「聖域」で厳しい駆け引きを繰り返した。日米協議の成否は12カ国全体の交渉も左右する。自国の利益とTPP妥結の両立を図るぎりぎりの攻防が続いた。

（一面参照）



関係協議を前に記者の質問に答える甘利和久（20日、東京都千代田区）

日米TPP関係協議の争点		
	日本	米国
米国産コメの輸入拡大	米国を含む11カ国全体で加工米含め年10万トン弱を検討	主食米で年17.5万トンを要求
日本製自動車部品の関税撤廃時期	即時を要求	長期間を主張

日本のコメ輸入の仕組み	
ミニマムアクセス米（年77万トン）	67万トン（飼料用、援助用、加工用） 10万トン（主に主食用）
→19年間で約2700億円の損失発生	
+	
TPPの相手国対象の特別枠	10万トン弱（加工用含む）
→転売、保管に伴い損失発生も	

日本が検討

和やか一変 駆け引き過熱

「あなたが時差ボケのうちにまとめてしまおうか」。19日夜から首相官邸近くの合同庁舎で始まった関係協議は、甘利明経済財政・再生相の軽口で幕を開けた。同日午後、日本に着いたばかりのフロマン・米通商代表部（USTR）代表は笑顔で応じ、初日の協議はわずか1時間半で終了した。「フロマン氏が事務方の台本通り話したのは初めてだ」。日本側の関係者は「今回は米国も本気で交渉をまとめるつもりだ」と受け止めた。

「最後の1合」マラソン協議

TPP交渉は年内の最終合意を目指す		
	ポイント	ポイント？
4月19、20日	日米関係協議	自動車や農産物分野で前進
23～26日	参加12カ国の首席交渉官会合	知的財産保護分野で歩み寄りめざす
28日	日米首脳会談	日米首脳が交渉を強力に後押し
29日	安倍首相が米議会で演説	米議会に協力を働きかけ
未定	米貿易促進権限（TPA）法案の成立	TPP妥結への前提
5月下旬にも	参加12カ国の閣僚会合	実質合意めざす

順調にいけば…年内に最終合意

12カ国妥結も難関

環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉に参加する12カ国は日米の閣僚協議を踏まえて年内妥結に向けて調整を急ぐが、課題は山積している。まずは23日から米ワシントン近郊で開く12カ国

20日の交渉を前にこう意気込みを語った。しかし、議論がコメや自動車部品に入ると交渉の空気は一変した。午前9時半に始まった協議は午後5時半ごろ中断。甘利氏は月例経済報告関係閣僚会議への出席を急ぎ、取りやめた。協議は午後9時半ごろ再開した。交渉が21日未明までずれ込んだのは、日本が最も対象に10万トン弱の輸入

米の確保に必要と位置づけ、米国の理解を得られないままの妥結は難しい。制度設計次第では、コメの輸入拡大により新たな国民負担が生じる懸念もある。1995年度に始めた、関税ゼロでコメを受け入れる最低輸入量（ミニマムアクセス）制度では累計約2700億円の損失が生じている。TPPで追加輸入した主

るような合意に至るなら、大きな影響を持つ。年内妥結の力点を握るのは、米議会に提出された米貿易促進権限（TPA）法案の行方だ。TPAは通商交渉の強力な権限を大統領に委ねるものだ。これまで米国が締結してきた多くの自由貿易協定（FTA）はTPAの下で交渉した。TPA法案が成立すれば参加国で妥結しても米議会に覆される可能性があり、参加各国も成立の可否をにらみ交渉に臨んでいる。法案成立がTPP妥結の前提といわれるゆえだ。安倍首相は29日に米議会で演説し、TPPの必要性を訴えて協力を促す。

3月の前合意では新薬開発や著作権収入を重視する先進国と、知財保護が不十分な新興国との間で対立が続く。5月下旬に出なかった。5月下旬にも閣僚会合で実質合意できるという話がある。28日には訪米した安倍首相とオバマ米大統領との首脳会談がワシントンで予定されている。日米首脳が閣僚協議を踏まえ交渉全体を後押しする

「転職35歳まで」変化

中高年で増加傾向

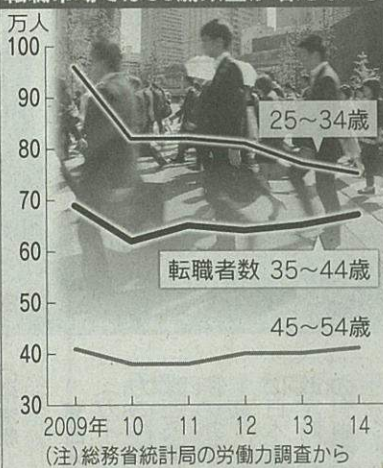
景気回復をにらみ企業が採用を拡大する中、若手だけでなく中高年の転職が増えている。業容を拡大している中堅・中小企業を中心に、経験豊富な管理職などを外部から登用。迅速な新規事業の立ち上げや海外展開に生かしている。従来は35歳を目安に、それ以上の年齢の転職は難しい面もあったが、少しずつ変わり始めている。

海外展開・新事業…

管理職 引き合い

「外資だけでなく国内企業も管理職採用に積極的だ」（松園健社長）。へ

転職市場では35歳以上が増えている



「あなた」が時差ボケのうちにまとめてしまおうか。19日夜から首相官邸近くの合同庁舎で始まった関係協議は、甘利明経済財政・再生相の軽口で幕を開けた。同日午後、日本に着いたばかりのフロマン・米通商代表部（USTR）代表は笑顔で応じ、初日の協議はわずか1時間半で終了した。

を運営するスターフェスティバル（東京・渋谷）は、最高財務責任者（CFO）や最高技術責任者（CTO）に楽天などからヘッドハンティングしてきた人材を起用した。経営のスピードが一段と求められるようになる中、新興企業では自前の人材育成では業務拡大に追いつかない面もある。

自由な選択 時間帯

「就業者が出社・退勤の時間を自由にする。自由な選択の制度。現行法では1カ月あたりの労働時間をあらかじめ決めて、その範囲内で1日の労働時間を決め、たとえば、ある日は仕事を6時間で終わらせて夕方から買い物に行ったり、別の日は午後出勤して深夜まで働いたりする大企業を目指す政府はフレックス制を奨励する方針だ。

きょうのトピックス

いまからでも間に合う。いつからでも習慣になる。

英語力アップを目指すなら!

「英語らしい英語」を身につけよう!

ラジオ英会話 レベル B1

講師 遠山 顕 (COMUNICA, Inc. 代表)

定価432円 毎月14日発売

ラジオ第2(月～金)午前6:45～7:00 ほか

長文リスニングを徹底トレーニング!

テーマは月替わり、ダイアログは日替わり。

基礎からしっかりと!

基礎英語1 レベル A1

講師 高本裕迅 (白百合女子大学教授)

定価432円 毎月14日発売

ラジオ第2(月～金)午前6:00～6:15 ほか

中学3年レベルの文法・表現で「使える英語」を!

基礎英語3 レベル A2

講師 佐藤久美子 (玉川大学大学院教授)

定価432円 毎月14日発売

ラジオ第2(月～金)午前6:30～6:45 ほか

海外旅行で役立つ100のフレーズをマスター!

基礎からしっかりと!

基礎英語2 レベル A1

講師 阿野幸一 (文教大学教授)

定価432円 毎月14日発売

ラジオ第2(月～金)午前6:15～6:30 ほか